

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

日本国 特許 (JP)

⑥実用新案出願公開

⑤ 公開実用新案公報 (U)

昭60-153885

④Int. Cl.

F 04 C 23/00  
F 04 C 29/08  
F 16 D 27/10

識別記号

庁内整理番号

8210-3H  
Z-8210-3H  
6814-3J

④公開 昭和60年(1985)10月14日

審査請求 未請求 (全2頁)

④考案の名称 可変容量型コンプレッサ

⑥実 願 昭59-41078

⑥出 願 昭59(1984)3月22日

④考 案 者 小 野 三 也

埼玉県大里郡江南村大字千代字東原39番地 デーゼル機器  
株式会社江南工場内

④出 願 人 デーゼル機器株式会社

東京都渋谷区渋谷3丁目6番7号

④代 理 人 弁理士 大 貫 和 保

⑦実用新案登録請求の範囲

1 ケーシング内に2つの圧縮部をそれぞれ設け、一方の圧縮部を駆動力が外部から伝えられる一方の駆動軸と連結せしめると共に、他方の圧縮部を駆動する他方の駆動軸を前記一方の駆動軸に連結手段を介して任意に接離せしめて成る可変容量型コンプレッサ。

2 圧縮部として、所望の形状のシリンダ内を回転させるペーンにより、該ペーンとシリンダとより成る圧縮室が容積変化を生じさせる実用新案登録請求の範囲第1項記載の可変容量型コンプレッサ。

プレッサ。

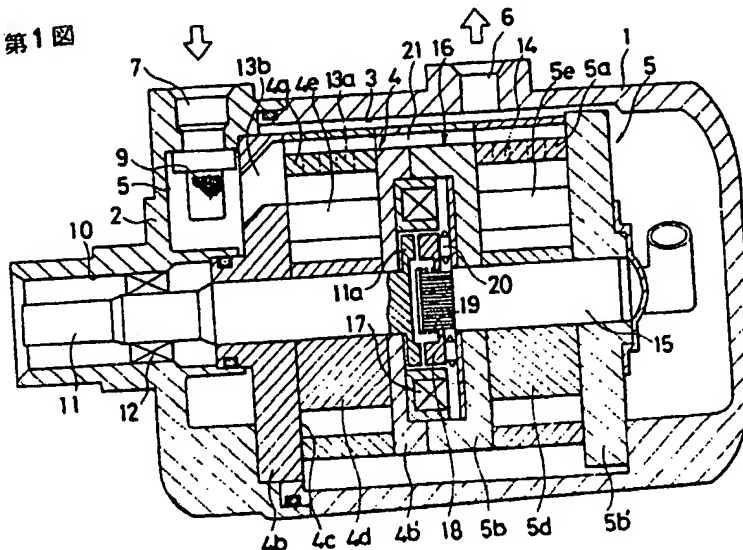
3 連結手段として電磁クラッチを用いた実用新案登録請求の範囲第1項記載の可変容量型コンプレッサ。

図面の簡単な説明

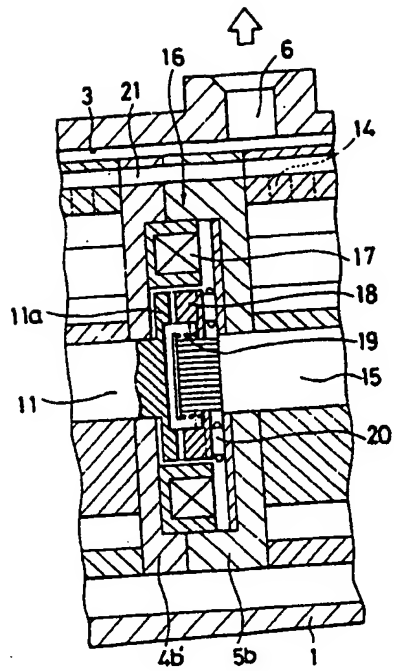
第1図はこの考案の実施例を示す断面図、第2図に要部拡大断面図、第3図はこの実施例の特性線図である。

1……ケーシング、4……一方の圧縮部、5……他方の圧縮部、11……一方の駆動軸、15……他方の駆動軸、16……電磁クラッチ。

第1図



第2図



第3図

